

UPFが韓国に5番目のUN事務局を置くことを提案

2月20日に韓国ソウルで行われた会議でソンジン様が基調講演されました。その内容を海外サイトINQUIRER.NETが掲載していたので紹介します。ご覧下さい。

北朝鮮では2月7日に地球観測人工衛星を打ちあげ、平安では4つ目の核爆発実験などが行われ、国際側からは北朝鮮に対する脅威が増える中、大韓民国のセヌリ党ウォン・ユ Cholは国会で「臨時国から助けを求めるだけでなく自主的に自国を守るべし」と意見を述べた。

南北間の緊張が高まる中、UPF(宇宙平和連合)が5番目のUN韓国事務局を設立することを提案し、およそ20名の韓国議員が、その提案の指示をする会議に参加することになった。2月20日国会で行われた会議では、40ヶ国以上から官僚6人を含む150人の議会委員と約40人の記者がソウルに集結した。

会議はInternational Parliamentarians Peace Association(国際国会議員平和協会)設立についてであった。

基調講演はUPFの創設者、文鮮明と韓鶴子の娘であるUPF会長ソンジン・ムン博士によってなされた。母 韓鶴子の代理として、国連がアジアを拠点とする事務局を設立することを提案した。

国会議員キム・イドンも国連が5つ目の事務局を韓国に設立することを支持し、「南北統一のための重要な策定である」と述べた。

Peace and Reconstruction for the Government of Nepal(ネパール政府平和復興)の大臣エクナス・ダカルも、ネパール政府を代理して韓国に5つ目の国連事務局を設立することを支持すると述べた。

本教会の礼拝に初めて参加された方を心から歓迎いたします  
天の父母様と真の御父母様の祝福が共にありますようお願い致します

1. お誕生日を迎えた食口の皆様、おめでとうございます。
2. 神氏族メシヤ勝利と救国救世の基盤造成の為の40日特別伝道路程  
真の父母様の御誕生日と基元節3周年の勝利圏を相續して、  
天一国4年の第二次40日特別精誠期間として、神氏族メシヤ  
勝利と救国救世基盤造成のために、「우리는 하나다  
(ウリヌンハナダ)」の精神で、さらに全食口が真の父母様とひとつ  
となって、邁進して参りましょう！  
第2次:3月1日(火)～4月9日(土)までの40日  
①対象者43家庭のリストアップによる神氏族メシヤ伝道の推進  
②2世および青年祝福対象者1名、既成・独身祝福対象者2家庭の伝道(年間)  
③天一国經典訓読の生活  
④家庭集会及び地域集会・地域貢献活動の活性化  
⑤世界貢献使命完遂
3. 第26回 嫁さん弁当  
とき:3月9日(水曜日)
4. 早朝訓読祈禱会  
日時:3月11日(金)5:00～  
場所:大宮教会  
浦和教会の担当日になります。真の父母様をご持参願います。
5. 第3地区壮年研修会  
日時:3月13日(日)10:30～  
場所:久喜菖蒲会館アミーゴ
6. 三送会 ～そして青年部へ～  
日時:3月13日(日)13:00受付 13:30開会  
場所:加須市民プラザ
7. 伝道三日路程 (変更になりました)  
日時:3月15日(火)～17日(木)  
↓  
3月22日(火)～24日(木)

【年頭標語】

創造主、天の父母様に似た、真の愛を実践する  
天一国の真の主人になろう！



宗教法人 世界平和統一家庭連合  
FAMILY FEDERATION for WORLD PEACE and UNIFICATION

浦和家庭教会

(旧 世界基督教統一神霊協会)

教区長：鄭日權 牧師

さいたま市南区南浦和1丁目23-12  
Tel: 048-886-8774 / Fax: 048-886-8797  
E-mail: uc.urawa@gmail.com  
HP: http://ucurawa.net/



# 日曜礼拝式次第



説教者：鄭 日權教区長  
 司会者：  
 伴奏者：

開	会			
黙	禱	.....	全 体	
※聖	歌	..... 聖歌 29番	全 体	
※敬	拝	.....	全 体	
※家庭	盟誓	..... (韓国語).....	全 体	
※年頭	標語	.....	全 体	
全	体	祈禱	.....	全 体
聖	歌	.....	聖歌隊	
み	言	訓読	.....	全 体

1部 説教「徳野会長特別メッセージ」

2部 成和学生部・成和子女部修了証書授与式

お	知	ら	せ	.....	司会者
※祝	禱	.....			執礼者
※全	体	祈	禱	.....	全 体
閉	会				

※起立して進行します

『生めよ、殖えよ、地に満ちよ、萬のものを治めよ』

# 今週のみ言

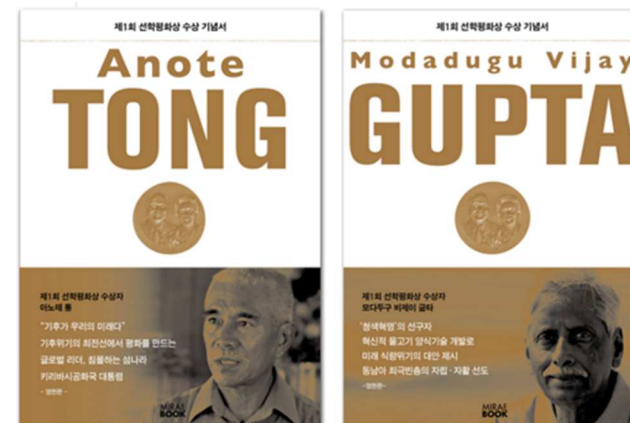
新しい年を迎えました。「赤い猿」の年は特別な年でしょう。猿はできることが多くあります。家族愛も非常に深いです。木のでっぺんまで登っていき、遠くを見渡すことができます。この「赤い猿」の年は、私たちが2020年までの希望の4年を出発する年なのです。私たちの希望は何でしょうか。救国救世です。天一国の実現です。真の父母様は国家基盤の上に顕現しなければなりません。しかし、人間の無知と中心人物が責任を果たせない事により、それができませんでした。天はイスラエル民族を選民として立てるために、4000年という長い期間、教育してこられました。天が抱くことのできる独り子をサタン世界に送るまで、4000年かかりました。イスラエル民族も待ちこがれていたのです。しかし、祝福を受けるべきだったイスラエル民族は、責任を果たせないことにより、2000年間、国もないまま寂しくさすらう、流浪の民族になってしまいました。イエス様は亡くなる時、「再び来る」と言われました。再び来て、小羊の婚宴をするというのです。2000年前、神様は独り子に対して、独り娘を準備されました。イスラエル民族を再び用いることはできないので、摂理はアジアに移りました。アジアでも最も善なる民族である韓民族のことを「白衣民族」と言います。天は、サタン世界の人類の中において独り子、独り娘を探し求めるために、最も善良で最も文明化され、最も尊敬に値する上位の国や人を求めて、摂理されたのです。

日本全国責任者集会(2/15)での真のお母様のみ言

# 統一運動

## 第1回鮮鶴平和賞受賞者記念で出版

アノトン・モーダービージェイ・グプタ  
 鮮鶴平和賞委員会は、上の設立者である真の父母様の「全人類一家族」平和のビジョンを広く知らせ、受賞者の平和の業績をたたえ、継続的な平和運動に拡張していくために、第1回鮮鶴平和賞受賞記念資料出版しました。第1回鮮鶴平和賞の受賞者であるアノトン キリバス大統領の「気候平和」活動とモーダーグプタ博士(インド)の「食料平和」活動を通じて、世界平和のための両方の受賞者の熱い人類愛を感じてみてください。



鮮鶴平和賞委員会事務局  
 鮮鶴平和賞は、真の父母様の平和思想と業績を称えるために制定されました。真の父母様は、早くから「すべての人類は一つの家族」という共生(共生)、共栄(共榮)、共義(共議)の信念にはんざ汎人類共同体の建設に生涯を捧げており、この平和のビジョンは、人類は、連続で世代から世代へとつながる一家族という非常に基本的な前提から来ています。これは人類のより良い未来のために献身する人々に賞を授与し、それを記念して、記念資料企画して出版しました。

### 2016年 VISION

幸せな家庭 健康な教会  
 国家と世界に貢献する統一運動

### 2016年 活動指針

- 1.理想家庭と心情共同体形成
- 2.神氏族メシヤ活動強化
- 3.二世圏活性化
- 4.社会貢献と救国救世基盤造成